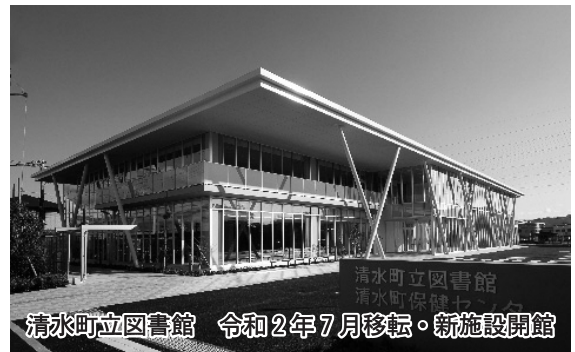


令和2年7月31日発行

静岡県

図書館協会

会報 No.75



編集・発行 静岡県図書館協会

静岡市駿河区谷田53番1号
静岡県立中央図書館内

図書館の新たな出発に向けて

静岡県図書館協会副会長
静岡市立中央図書館長

川東 俊夫



令和2年4月1日より静岡市立中央図書館長に就任するとともに、静岡県図書館協会理事の職を仰せつかりました。静岡県立中央図書館をはじめ県内各図書館とはネットワークで繋がっており、今後とも各図書館を運営する皆様と連携し図書館としての使命を果たしていきたいと考えています。どうぞよろしく申し上げます。

私ごとで恐縮ですが、初めての図書館勤務であり、一利用者の立場から図書館運営の責任者として実務に携わることになりました。また、転勤族の父とともに45年前に静岡の地に初めて降り立ち、最初に住んだのは、現在勤務する静岡市立中央図書館のすぐ近くでした。当時瓦礫とヒマラヤスギしかなかったこの土地を通り、雄大な富士山に感激しながら通学した頃を思い出し、「初心にかえて」日々勤務しているところです。

さて、静岡市立図書館は、平成の市町合併を経て、現在中央図書館を含む12の館と移動図書館車1台で運営しています。平成29年に改訂した「静岡市立図書館の使命、目的、サービス方針」では、①『『図書館の自由に関する宣言』に基づき、知る自由を守る図書館』、②『市民の暮らしや仕事、まちづくりに役立つ図書館』、③『学びを通してさまざまな個性が育つことを助ける図書館』の3つを掲げ、サービスの提供、向上に努めています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため図書館もいままでにない対応や変化を求められています。感染拡大が進む中、「一日でも長く市民の皆様

読書の楽しみや情報を提供しよう」と業務を続けてきましたが、本市でも4月25日から休館せざるを得ませんでした。現在は、館内の椅子を撤去するなど、3密を避けるための様々な制限を続けています。返却資料の消毒や入館記録票記入の依頼など、職員の負担も増え、おはなし会などの事業についても、参加人数の制限や開催方法の変更などを検討中です。

その中で「開館してくれて良かった」「また図書館に通えることができるようになって嬉しい」「職員の皆さんも大変でしょう。体に気を付けて」とお声をかけてくださるお客様、図書館が再開したのだからとさっそく活動を始めてくださるボランティアの方々、何か手伝えることがあればいつでも言って、とお声をかけてくださる友の会の方…と、多くの方に図書館が期待され、助けられ、慈しまれていることを喜び、これからも利用者の声に耳を傾け寄り添えるよう、日々努めてまいります。

静岡市立中央図書館は昭和59年に移転・開館してから36年が経過し、今年の秋から設備の更新、外の公園を見ながら読書できる館内整備、公園側への新出入口の設置など、大規模改修を予定しています。同時期に中央図書館のある城北公園では、Park-PFI事業により公園内にカフェや公園利用者用駐車場など、再整備が行われることになっており、令和3年7月頃のリニューアルオープン時には、公園と一体となった新しい図書館をご覧いただける予定です。コロナ対策と合わせ事業の見直しが進む中、先行き不透明ではありますが、皆様楽しみに待っててください。

子供の読書活動優秀実践図書館・団体 文部科学大臣表彰受賞 伊東市立伊東図書館 おはなしボランティアてぶくろ

文部科学省では、子供が積極的に読書活動を行う意欲を高める活動を推進するため、特色ある優れた実践を行っている団体に対し大臣表彰を行っています。令和2年度は、図書館の部で伊東市立伊東図書館が、団体（個人）の部で「おはなしボランティアてぶくろ（焼津市）」が受賞しました。

子どもにとって図書館っていろんな可能性があるなあ… 伊東市立伊東図書館

「どんなえほんをかりてくるかな～」
「よるはみんなであそぶのかな～」
ぬいぐるみおとまり会に参加した子どもたちの「声」です。
子どもたちの「生の声」が聞こえてくると我々も楽しくなってきます。

伊東市立伊東図書館は、子ども向けの催しとして、「企画展」、「ぬいぐるみおとまり会」、毎週土曜日及び年3回の「おはなし会」などを実施しています。これらは、多くの図書館でも実施しており、特別な内容ではありませんが、職員がアイデアを出し合いながら、「身の丈にあった」内容で楽しみながら取り組んでいます。今後も、これまで培ってきた「経験」を踏まえ、新たな取り組みにもチャレンジするなどして、伊東図書館が子どもたちにとって「読書を起点」とした「夢のある場」になるよう取り組んでいきたいと考えています。

先日、伊東図書館では、市内小学校の女子児童2名から、自ら作製した布マスクの寄贈を受けるといふ、非常にうれしい出来事がありました。

その際、私は、彼女たちの「いろいろ考え、知恵を出し合い、試作品を作製しながら完成させた。」とのコメントを受け、「社会の役に立ちたいという気持ち」、「試行錯誤しながら完成までに至った経験」を、今後の人生にぜひ生かしてほしいと伝えました。子どもたちにとって、物事を成し遂げるまでに“考える”ことは、成長するうえで非常に重要であり、この想いや経験は、今後の勉学、そして社会に出てから必ず生かすことができる、と考えたからです。

この寄贈を通じ、図書館は、単に知識の習得や、様々な考えを知る場となるだけでなく、その知識や考えを「どのように生かすのか」を「考えられる場」にしていかなければならないと、あらためて感じました。

当市では、新図書館の建設を計画していますので、新図書館が子どもたちの将来につながる「奥の深い図書館」になるよう、これまで以上に“考えながら”業務に取り組みたいと考えています。

最後に、新型コロナウイルスの影響が、今後、どの程度、続くのか、皆さまも同じ気持ちだと思いますが、非常に懸念しています。子どもたちの楽しんでいる声がまた聞けるよう、一日も早い「終息」を願うばかりです。

（伊東市立伊東図書館 館長 鈴木 淑夫）



伊東市立伊東図書館

「おはなしを語ること」と「選ばれた本」を子どもたちに おはなしボランティアてぶくろ（焼津市）

「おはなしボランティアてぶくろ」は「世界に語り継がれるおはなし」と「選ばれた本」を子どもたちに届けたいとの願いで22年前に立ち上げられました。

「素話（ストーリー・テリング）」と「ブックトーク」の2つを活動の柱に据え、皆で学び合いながら活動しています。焼津市立焼津図書館では「むかしばなしのへや」、市内の幼・保育園、高齢者施設では「おはなし会」を毎月。そして、小学校（3校）では、年1回、全学年のクラス毎に1時限を使って「おはなしの会」を行っています。「おはなしの会」は学年に相応しい「素話・絵本の読み聞かせ・ブックトーク」を組みあわせ、子どもたちに興味をもってもらえるよう、選書やプログラムの構成に工夫を重ねています。子どもたちからの「紹介された本を読みたい」などの言葉は私たちの活動の励みになっています。

時代がどんなに変化しても、「おはなし」や「選

ばれた本」は人の心を豊かにし、深く支えてくれるものと信じています。この度いただいた大臣表彰にも深く感謝し、これからも地道に活動を続けていきたいと思ひます。

（おはなしボランティアてぶくろ 代表 山口祐子）



おはなしボランティアてぶくろ

新設図書館紹介 子育て世代などが交流できる図書館を目指して 清水町立図書館

清水町は、交通の利便性が高く、国道1号線が町の北部を横断し、東名高速道路沼津ICや新東名高速道路長泉沼津ICからも近く、更に、JR東海新幹線三島駅にも近いことから東京などへ通勤・通学する方も多い町です。

また、東に境川、西に黄瀬川、南に狩野川、町の中央部には湧水柿田川が流れ、温暖な気候に恵まれた緑と清流の美しい町です。今回は、平成30年度から整備工事を進めてきた清水町図書館・保健センター複合施設が、令和2年7月15日にオープンしましたのでこの紙面をお借りし紹介させていただきます。

この施設には次の4つのコンセプトがあり、これらの実現のため、各種のソフト事業や施設の充実を図っています。

- 1 図書資料の充実、保健センターとの複合施設としてのメリットを活かせる施設とする。
- 2 世代間交流が図られ、いつでも誰でも気軽に利用できる空間とする。
- 3 勉学に集中でき、学び、感じ、ふれあうことができる施設とする。
- 4 子どもの自発的な読書活動を推進するための魅力的な図書資料充実を目指す。

図書館の1階は「こども図書館」を配置し、児童書や絵本を取り揃えるとともに、読み聞かせを行う専用の部屋として「おはなしの部屋」や清水町出身

町のふるさと大使でもある絵本作家の宮西達也先生の特設コーナーを設置しています。2階は「一般図書」を配置するとともに、26席完備の「学習室」、また、「地域資料コーナー」や大型テレビを設置した「視聴覚室」などがあります。これらの施設を有効に活用しながら、読み聞かせボランティアグループなどと連携を図りながら各種ソフト事業を展開していくとともに、図書と健康がコラボレーションした新たな事業の展開や子育て世代などが交流できる施策を実施してまいります。

(清水町立図書館 館長 渡邊 浩伸)



清水町立図書館

平成30年度・令和元年度調査研究委員会報告 報告書「図書館における高齢者サービスを考える」

静岡県図書館協会が、資料専門委員会に代わり平成30年度に設置した調査研究委員会にて、平成30・令和元年度の2年をかけて「高齢者サービス」をテーマに県内の公共図書館における現状と課題について調査研究を行い、報告書にまとめました。

報告書は調査編と実践編で構成されています。

調査編では、静岡県内の公共図書館で高齢者サービスの現状を把握するために、「県内公共図書館の状況」、「県内公共図書館員の意識」、「利用者（高齢者）の利用状況と要望」について3つのアンケート調査を行い、結果をまとめ考察しています。アンケート調査からは自分で図書館へ来館できない人と、来館できる人のサービスをそれぞれ考える必要があることがわかりました。来館者向けの高齢者事業を実施している館は全体の約3分の1でした。来館できない人へのサービスとして、宅配貸出や高齢者施設への団体貸出、出張読み聞かせなど実施している館

も少数でした。来館できる人、できない人、どちらへのサービスも、予算や人員、方法などの制約があり、各図書館で拡充が必要と感じていても、実施できない様子が見えてきました。

実践編では、来館できる高齢者が図書館に希望するサービスで最も要望が多かった「講座の開催」について、実践事例として富士宮市立図書館で富士宮市健康増進課と連携して健康講座を開催し、手順や留意事項をまとめました。

超高齢社会の公共図書館は、自分で来館できる人にとっては生きがいつくり、居場所、知的好奇心を満たす場として求められています。また、来館できない人にも、必要とされる図書館サービスが届けられるよう努める必要があります。各館でサービスを検討する際に、本報告書を役立てていただければ幸いです。

図書館における高齢者サービス 調査編 静岡県内の状況は？

静岡県図書館協会 調査研究委員会(平成30年度・令和元年度)

各図書館が高齢者サービスに取り組んでいることと併せて、県内の公共図書館の状況、読書習慣の形成、利用者の意識に関する調査結果をまとめたアンケート調査を行う調査報告書、調査結果を掲載。

アンケート結果

- 県内公共図書館の状況
- 大字系、旧市町村合併による影響が大きい
- 高齢者向けサービスは少ない
- 高齢者向けサービスは少ない
- 高齢者向けサービスは少ない
- 利用者の意識
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- 図書館に求めたいサービス
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

アンケートから見えてきたこと

- 図書館へ来られない高齢者へのサービスが必要
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- 講座の開催
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

実践例

- 個人宅配サービス 4館
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- ボランティアと連携した出張サービス 2館
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

まとめ 超高齢社会に求められる図書館サービス
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

実践編 やってみました!! 「健康講座」 富士宮市立中央図書館

静岡県図書館協会 調査研究委員会(平成30年度・令和元年度)

なぜ健康講座?

- アンケート結果によると、利用者は「健康講座」の開催を希望している
- 文字や音声の講座は少ない
- 文字や音声の講座は少ない

講師は?

(6か月前) 県内図書館員を優先し、講師候補リストを提出していただき、講師候補リストを作成

準備は?

(4か月前) テキスト作成、配布
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

講座の内容や日程は?

(5か月前) 講座の内容と日程を講師と相談
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

講座当日

(2週間前) 講師と打ち合わせ
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

講座終了後

講師に礼状(メール)とアンケート結果を送付
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

考察・まとめ

- ①講師 内閣府が外部講師か、内閣府が外部講師か、外部講師の場合は事前に予算要求し、労力は計らないで、早めの打ち合わせが必要。内閣府の場合は土日祝は休業日必須。
- ②開催時期 土曜か平日か、午前か午後か、駐車場や周辺地域の状況を考慮する。
- ③内容 市の広報は有効。チラシは年齢層に合わせた配布先を検討。
- ④参加者 講座のテーマや内容により参加される。参加者に図書館員を配席し、図書館員がサポートする。

申込受付

(1か月前) 電話または窓口で受付
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある
- サービス満足度は利用者の満足度を高める必要がある

まとめ

- ☆他館と連携して講座を実施することはお互いにメリットがある。
- ☆図書館が「悪い場所」としての提供も考えながら、幅広い分野の講座を実施することを目指す必要がある。
- 「まずは実践することが大切!!」

令和2年度 総会報告

令和2年度の静岡県図書館協会総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面により実施され、下記の議案が承認されました。

- 第1号議案 令和元年度事業報告案
- 第2号議案 令和元年度決算報告案・会計監査報告
- 第3号議案 東海大学短期大学部図書館の退会
- 第4号議案 静岡県立農林環境専門職大学図書館の入会
- 第5号議案 令和2年度静岡県図書館大会の開催可否
- 第6号議案 令和2年度事業計画案
- 第7号議案 令和2年度予算案
- 第8号議案 令和2・3年度役員・専門員委員会設置の承認
- 第9号議案 静岡県図書館協会会則の改正案

令和2年度 静岡県図書館協会役員

理事 会長	三科 守	(静岡県立中央図書館)
副会長	川東 俊夫	(静岡市立中央図書館)
副会長	高瀬 理子	(浜松市立中央図書館)
	尾和富美代	(沼津市立図書館)
	田代 光宏	(小山町立図書館)
	鈴木都実世	(磐田市立中央図書館)
	青山 文彦	(御殿場市立図書館)
	澤田 均	(静岡大学附属図書館)
監事	杉村 明彦	(牧之原市立相良図書館)
	大久保紀彦	(常葉大学附属図書館(水落))

※加盟館名簿順

<令和2年度静岡県図書館大会>
新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止

<令和2年度事業計画>

- 会議・大会
- 理事会 第1回 (4月中旬・文書による決裁)
 - 第2回 (9月初旬・文書による決裁)
 - 第3回 (2/14)
 - 総会兼館長会 (4月下旬・文書による決裁)
 - 相互貸借担当者会議 (中止)
 - 静岡県図書館大会 (中止)

研修・視察

- 図書館基礎研修 (資料配付による自己学習)
- おうだんくん基礎研修 (5/14・5/15・5/20)
- ※中止 動画配信による研修に変更
- レファレンス基礎研修(5/21・5/28・6/4・7/2)
- ※中止 動画配信による研修に変更
- 資料保存 (児童・青少年) 研修 (9/11)
- レファレンス応用研修 (10/21・10/28)
- 図書館情報交換会 (10月～12月、2～3回実施)
- 関東甲信越静地区図書館地区別研修 (12/1～4)
- ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期・または中止することがあります。

委員会

- 調査研究委員会 年3回開催
- 図書館大会運営委員会 中止

<令和2年度予算>

収入総額並びに支出総額3,380,000円の本年度予算が承認されました。

<新規加入館・退会館>

- 新規加入館 静岡県立農林環境専門職大学図書館
- 退会館 東海大学短期大学部図書館

公立図書館等職員研修のお知らせ

資料保存(児童・青少年)研修	9月11日(金)	県立中央図書館	演習「図書の軽微な傷みの修理(仮)」 講師:高岡容子氏(「図書館のための簡単な本の修理」原案・監修)
レファレンス 応用研修	10月21日(水) 10月28日(水)	県立中央図書館	演習:中級レファレンス 講師:県立中央図書館 調査課 一般調査班職員
静岡県 図書館大会	11月16日(月)	静岡市清水文化会館 マリナート	中止

関東・甲信越静地区図書館地区別研修

12月1日(火)	県立中央図書館	基調講演「近未来の図書館(仮)」 講師:東京大学名誉教授 根本彰氏
12月2日(水)	県立中央図書館	①講義「子どもの本がもつ力(仮)」 講師:児童文学者・翻訳家 清水真砂子氏 ②講義「図書館に求められること/図書館が目指すこと=安城市アンフォーレが示す最適解とは?(仮)」 講師:安城市立図書館情報館長 岡田知之氏 ③講義・演習「図書館におけるSNSを活用した情報発信(仮)」 講師:(有)ユニバーサルワークス代表取締役 清家順氏
12月3日(木)	県立中央図書館	①講義・演習「震災に備える 図書館の危機管理(仮)」 講師:(一社)減災ラボ代表理事 鈴木光氏 ②講義「連想検索技術によるMLA連携と次世代デジタル・アーカイブ(仮)」 講師:国立情報学研究所教授 高野明彦氏 ③施設見学:静岡県立大学附属図書館 静岡県立中央図書館及び静岡県立美術館
12月4日(金)	県立中央図書館	講義「人生100年時代 図書館における高齢者サービス(仮)」 講師:筑波大学教授 溝上智恵子氏

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期・または中止する可能性があります。